



2022-2023
国際ロータリーテーマ



イマジン
ロータリー

Rotary

ジェニファー E. ジョーンズ

2022～2023年度 標語
「平和な未来を想像し、行動しよう。」

諫早西ロータリークラブ
会長 川野 弘茂



第1770例会 2023年 2 月 22 日例会記録 NO.28 天候 曇り

【本 日】会員数 55名 出席 41名 欠席 6名 出席率 88.89%
 【2/15】会員数 55名 出席 54名 欠席 0名 (MU 4名) 免除 1名 出席率 98.15%

会長の時間



川野 弘茂 会長

2月23日は何の日かご存じですか？ 答えはロータリーの友(2023年2月号)の6ページにあります。ロータリー創立記念日です。

1905年2月23日は、ロータリーの創始者ポールハリスが、友人3人と初めて会合を開いた日です。ポールハリスは1868年4月19日生まれですので、36歳のときになります。今年に入って、新入会員が7名入りしましたので、入門「初期のロータリーの歴史」と題しまして、スライドで説明したいと思います。

〈職業奉仕における初期のロータリー歴史〉

1905年、シカゴロータリークラブ結成。ポールハリスと3人の友人。奉仕の概念はありませんでした。

1906年、ドナルドカーター、自分たちだけでなく、社会に恩返しを。

1907年、シカゴ公衆便所設置。

1908年、シェルドンが、シカゴロータリークラブ入会。「もっともよく奉仕するもの、最も多く報われる。」

“He profits most who serves best” シェルドンが、職業奉仕の理念を提唱する。

1911年、ベンジャミン・フランク・コリンズが人道的奉仕理念を提唱する。

「超私の奉仕」 “Service above self” の原型「Service not self」

1916年、Guy Gundakerの「ロータリー通説」史上初めてのロータリーの教科書、解説書といわれる。

1923-24年度のRI会長。

1923年、決議23-34,ロータリーの奉仕理念がとかれる。

「超私の奉仕」 「もっともよく奉仕するもの、最も多く報われる。」

1943年、ハーバート・テラーが、「四つのテスト」採択。

1947年1月27日、ポールハリス78歳で亡くなる。

初期のロータリーの歴史を復習しました。

会 長／川野 弘茂 幹 事／永井 栄次 創立日／昭和60年2月20日 認証日／昭和60年3月5日
 例会場／平安閣 諫早サンプリエール(毎週水曜日) 〒854-0053 諫早市小川町71-1 TEL (0957) 24-3907
 事務局／諫早商工会議所内 〒854-0016 諫早市高城町5番10号 TEL (0957) 22-3323
 会報委員／毎熊 正太郎・坂本 伸二・宇土 久
 HP/<http://isahaya-west.com> E-mail/info@isahaya-west.com

幹事報告

【例会変更】

※諫早北ロータリークラブより

①日時：令和5年3月23日(木)⇒22日(水) 18:30～

場所：平安閣諫早サンプリエール ※諫早5RC合同例会のため

②日時：令和5年4月13日(木) 18:30～

場所：L&Lホテルセンリュウ ※花見例会のため

【例会休会】

※諫早北ロータリークラブより

日時：令和5年3月30日(木)

※定款第7条第1節により

【お知らせ】

※ガバナー事務所より

「シンガポール航空・メルボルン国際大会
限定割引(5%)のご案内」

※国際ロータリー日本事務局より

①「会員増強詳細報告」

②「クラブ・地区支援室メッセージ」



スマイルボックス



川野 弘茂君：佐世保ダービースクールと大草小学校とのリモート交流会はすばらしかったです。

国際奉仕友永委員長お疲れ様でした。

永井 栄次君：先日のリモートによるダービースクールと大草小学校での交流会では、委員会の皆さんお疲れ様でした。子供達も大変楽しんできましたネ。

長田 篤史君：今日はニャンニャンの日ということで、ネコの日だそうです。ネコをめですと幸せになるそうです。みなさん、ネコを可愛がりましょう。すみませんが、早退します。

山本 健志君：この度は亡父の葬儀にご会葬していただき、ありがとうございました。

植杉 親優君：誕生日の方、結婚記念日の方、おめでとうございます!!

サルヴァドーライ美奈子君：

今日、私のつたない卓話を聴いていただき、有難うございます。

千住 良治君：申し訳ありません。早退させていただきます。

本日の合計 (2/15)

¥15,000

累計額

¥891,250

会員卓話



サルヴァドーライ 美奈子 会員
『自己紹介』

ロータリーの友 2月号 『卓話の泉』より

骨髄バンクのドナー候補者になったら

翠松園(株)取締役 骨髄バンクドナー 吉田 勉

骨髄バンクに登録し患者とHLA(白血球の型)が一致すると、日本骨髄バンクから「ドナー候補者に選ばれました」と連絡が来ます。その後、日本骨髄バンクから自宅に意思確認の書類が届き、コーディネーターから電話で説明を受ける流れとなります。HLAが一致するのは、兄弟姉妹の間では25%、非血縁者間では、わずか数百～数万分の一の確率です。ドナーとしての候補者に選ばれても、この時点で断ることは可能です。受諾する場合は、確認検査を行い、本人と家族、コーディネーター、検査に関わる医師、弁護士などが立ち合い、最終同意書に署名します。この最終同意書で、患者は

移植に向けて抗がん剤や放射線治療などの処置が始まるため、ドナーは署名、押印後、提供意思の撤回はできません。最終同意の確認をした後、採取前の健康診断を受け、提供のために数日間入院します。ドナーが提供するものは、骨髄と末梢血幹細胞の2種類ですが、後者の提供の場合、体内の末梢血幹細胞数を人工的に増大させるための薬剤を毎朝1回接種します。この薬剤の副作用は人によって異なります。患者の必要とする細胞数が取り出せたら終了で、その数時間後には移植手術が始まります。後日、再度通院し、検査した上で、日帰り入院で追加で末梢血幹細胞を採取し同患者に提供、ということもあります。自治体によってはドナーとなった人への助成金制度があります。現在、骨髄バンクに登録している患者数は約7000人、ドナー登録者数は54万人を超え、患者の約8割がHLA適合者を見つけることができるそうです。しかし、ドナー候補者にも選ばれても会社を休めなかったり、家族の理解を得られない、休業補償をしてもらえないなどの理由から辞退となるケースは多いそうです。社員や身近にドナー候補者がいる場合には、快く送り出せるような環境を多くの企業が整えることが必要でしょう。

(第2570地区・埼玉県・入間RCにて・同RC会員)